

SHUN ISHIWAKA TRIO

HALL TOUR
2026⁺²⁷

/ FEATURING YUSEI TAKAHASHI & MARTY HOLOUBEK / GUEST TOMOAKI BABA



取手 JAZZ FESTIVAL 2026
Part2

“初のホール・ツアー開催”

新世代ジャズ・シーンを象徴する面々が集結！

石若 駿 トリオ

ホールツアー2026⁺²⁷

石若 駿(ds) 高橋佑成(pf/key) Marty Holoubek(b)

Guest 馬場智章(ts)

© Mikio HASUI

2026.10.17 土

開場 15:00 / 開演 15:30
取手市民会館

全席指定 4000 円
文化事業団友の会会員 3800 円
※未就学児入場不可

チケット発売日

- 一般 7月9日(木) 10:00 ※発売初日はお電話のみの受付となりお席の指定はできません。
- LINE お友だち先行 7月8日(水) 10:00
- 文化事業団友の会会員 7月7日(火) 10:00

主催：取手市 / (公財) 取手市文化事業団
問合せ：(公財) 取手市文化事業団 0297-73-3251

プレイガイド

- 取手市民会館 0297-73-3251
- 取手市民会館 LINE 電子チケット → → →
- チケットぴあ (Pコード：327052)
- イープラス eplus.jp



LINE チケット

SHUN ISHIWAKA TRIO PROFILE



SHUN ISHIWAKA

石若 駿(ds)

1992年北海道生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校打楽器専攻を経て、同大学を卒業。リーダープロジェクトとして、Answer to Remember、CLNUP4、SMTK、Songbook Trio を率いる傍ら、作編曲家として様々なアーティストや映像作品、プロジェクトのサウンドプロデュース、楽曲提供を行う。また、日野皓正、くるり、椎名林檎、米津玄師、星野源、KID FRESINO、君島大空、CRCK/LCKS など数多くのアーティストのライブ、レコーディングに参加。2023年、HTB ジルベスターコンサートにて、自作の協奏組曲「playgroundz (for percussion)」を札幌交響楽団と共に世界初演。さらには、同年に公開された劇場アニメ『BLUE GIANT』では、登場人物の“玉田俊二”のドラムパートの実演奏を手がける。2024年9月には、2日間にわたり「ナタリー石若駿20周年ワッツアップ祭り」を開催し大成功をおさめ、ますます今後の活動に注目が集まる。他に類を見ないアプローチで音楽シーンに影響を与え、新たな潮流を生み出している。



YUSEI TAKAHASHI

高橋 佑成(pf/key)

1994年東京生まれ。明治学院大学文学部芸術学科卒業。13歳の頃からジャズに興味を持ち独学でジャズを始める。その後中学生対象の世田谷ドリームジャズバンドに加入。日野皓正氏を始めとしたジャズミュージシャンに触れ音楽を学ぶ。現在は世田谷トリオ、m'fe、日野皓正Quintetなどに参加。またジャズに限らず、STUTS、七尾旅人などのレコーディングにも参加し活動の幅を広げている。



MARTY HOLOUBEK

Marty Holoubek (b)

南オーストラリアのアデレード出身。現在、東京を拠点にする活動。幼少期から音楽への情熱を抱き、10代でベースを始め、まもなく優れたミュージシャンとしての評判を得る。21歳のとき、活気ある都市メルボルンに移住

し、その芸術性が開花し始める。メルボルン時代にはAllan Browne、Paul Grabowsky、Scott Tinkler、James Bowers、Clio Renner、Sex on Toastなどのアーティストと共演を重ねる。2018年8月、新たな音楽の探求を深めるために、東京への移住を決断。この賑やかな大都市に広がる豊かな文化的背景とダイナミックな音楽シーンは、彼の創造性がさらに発展する理想的な環境となった、以後、日本の音楽シーンで急速に注目され、日野皓正、Jim O'Rourke、石橋英子、ermhoi、石若駿、岡田拓郎、崎山蒼士、HIMI、角銅真実、Answer to Remember、森山直太郎などの著名なアーティストと共演。多様な影響が組み合わさり、独自かつ魅力的なサウンドを生み出す機会に恵まれる。アデレードで生まれ、メルボルンの音楽シーンで育ち、現在は東京のクリエイティブな土壌にしっかりと根付いたMarty Holoubekの音楽は世界中の観客を魅了している。

Guest



TOMOAKI BABA 馬場智章(ts)

1992年、北海道札幌市生まれ。2005年、ボストンのバークリー音楽大学タイアップの「北海道グループキャンプ」を受講し、優秀賞を受賞。2010年、テリ・リン・キャリントンが指揮するバークリー・サマー・ジャズ・ワークショップのメンバーに選拔され参加。2011年のバークリー音楽大学入学後は、テリ・リン・キャリントン、テレンス・ブランチャード、ジェイミー・カラム等のアーティストと共演。卒業後はニューヨークに拠点を活動。2016年から4年間、テレビ朝日系「報道ステーション」のテーマ曲を所属するバンド「J-Squad」で担当し、同バンドで2枚のアルバムをリリース。2020年に帰国後はリーダー・プロジェクトに主軸に置き、これまでに『Storyteller』(2020年)、『Gathering』(2022年)の2枚のリーダー・アルバムをリリース。2022年、日本で初開催された「LOVE SUPREME JAZZ FESTIVAL JAPAN」に、DREAMS COME TRUE feat. 上原ひろみ、Chris Coleman、古川昌義、馬場智章、aTak、Answer To Rememberの3バンドで出演。翌年の同フェスティバルには自身のバンドで出演を果たした。2023年公開のアニメーション映画『BLUE GIANT』(音楽:上原ひろみ)にて、主人公・宮本大のサクソフ演奏を担当。また、ルイス・コールのバンドの一員として国内外のツアーに参加するほか、マーク・ジュリアナ、マカヤ・マクレイヴン、マーキス・ヒル、ユリス・オーエンス・ジュニア、ベン・ウェンデルなど世界各国のミュージシャンとのコラボレーションイベント「BaBaBar」をオーガナイズしている。2024年 メジャーデビューアルバムとなる「ELECTRIC RIDER」をリリース。